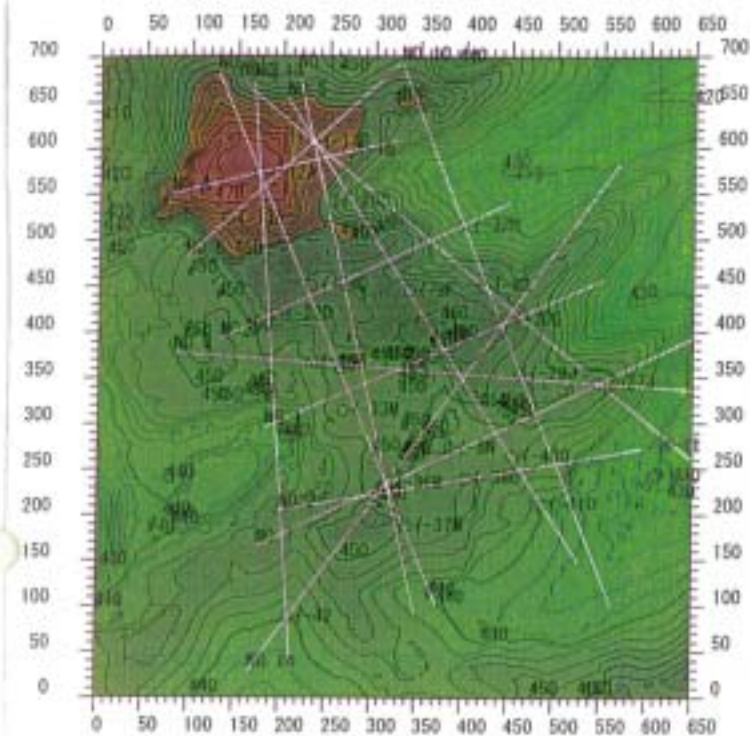


地下水移流拡散シミュレーションケースⅢ-c <県境遮水壁ケース>

- シミュレーションの解析条件【ケースⅢ、Ⅳ】
- 1 キャッピングした場合における地中への浸透量は、これまでの実績等から、年間降水量1,200mmの内、120mmと仮定した。
 - 2 解析エリア境界の地下水位は現状の沢の流れが変わらないものと仮定した。
 - 3 同一の地層は均一の状態にあると仮定した。
 - 4 不法投棄エリアは、最終形態が一時に出現したものと仮定した。
 - 5 汚染エリアの汚染濃度は、全域同一汚染状態にあると仮定した。

調査位置図

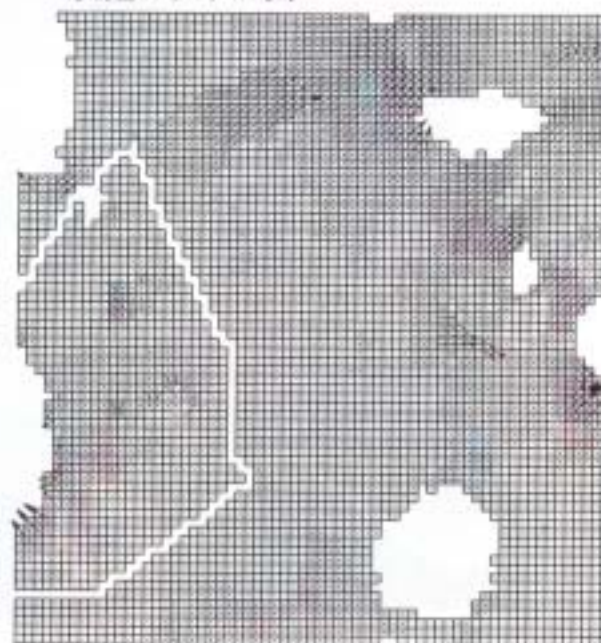


全水頭コンター図

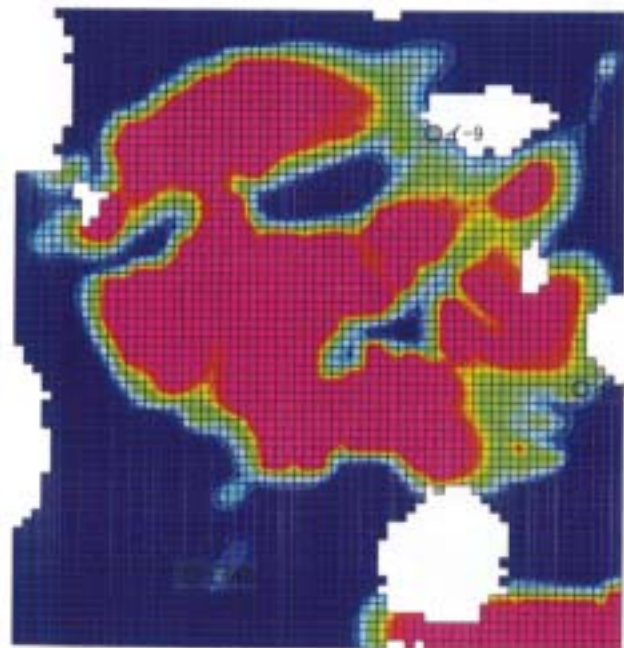


(m)

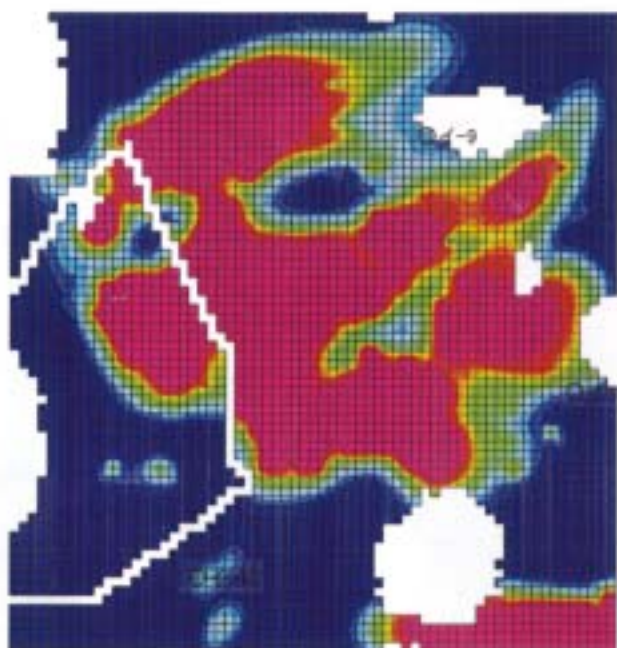
流速ベクトル図



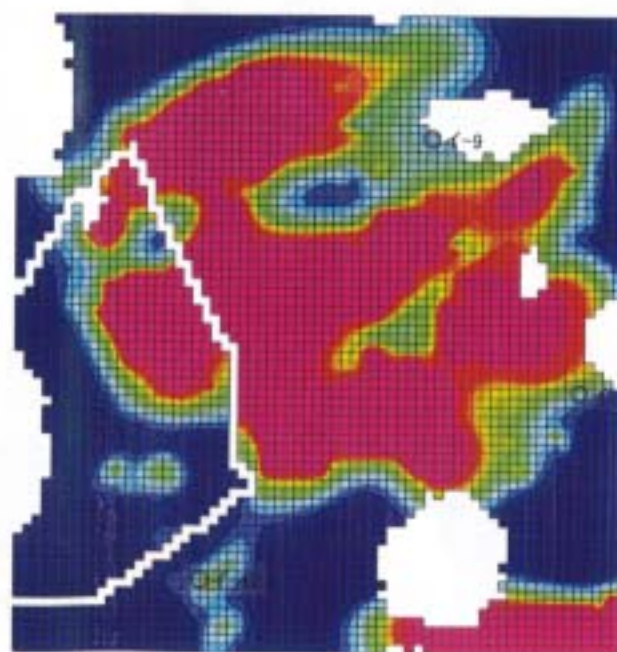
初期状態



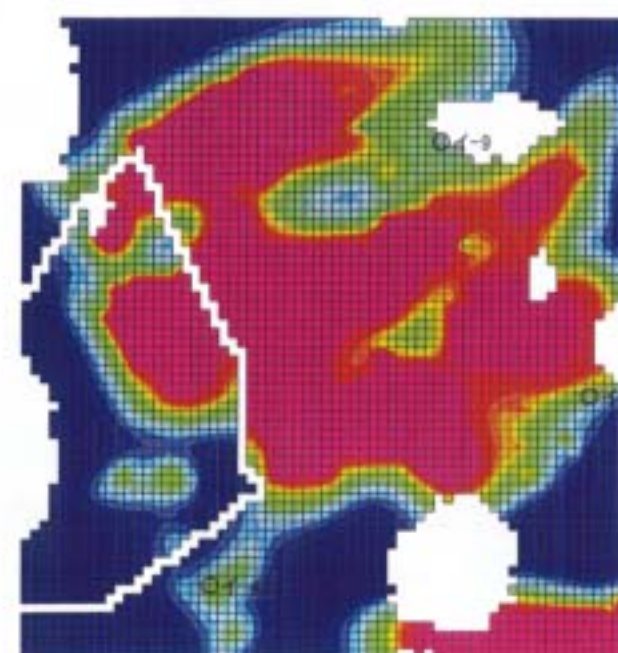
7年後



14年後



21年後



(濃度)

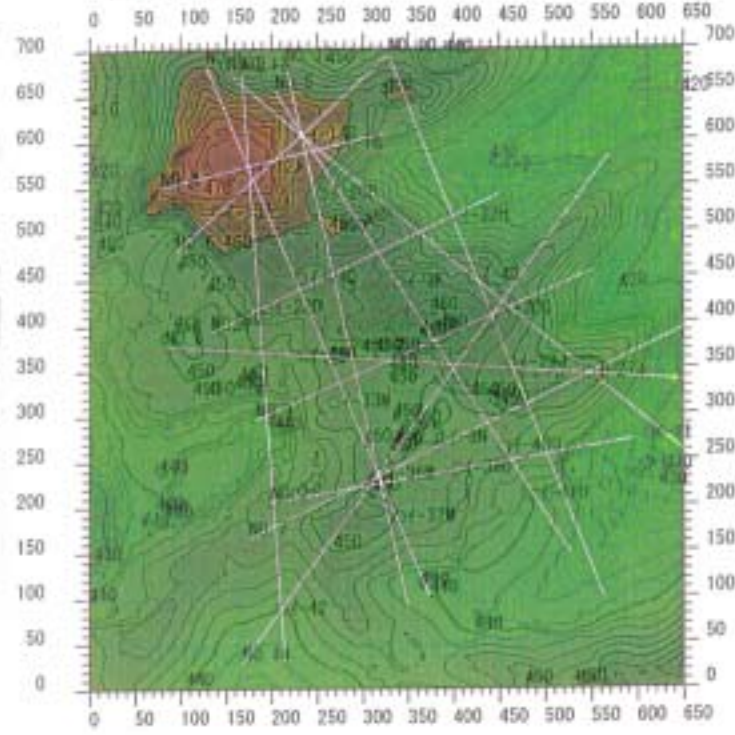


地下水移流拡散シミュレーションケースI-e <県境遮水壁+ABD地区廃棄物撤去ケース>

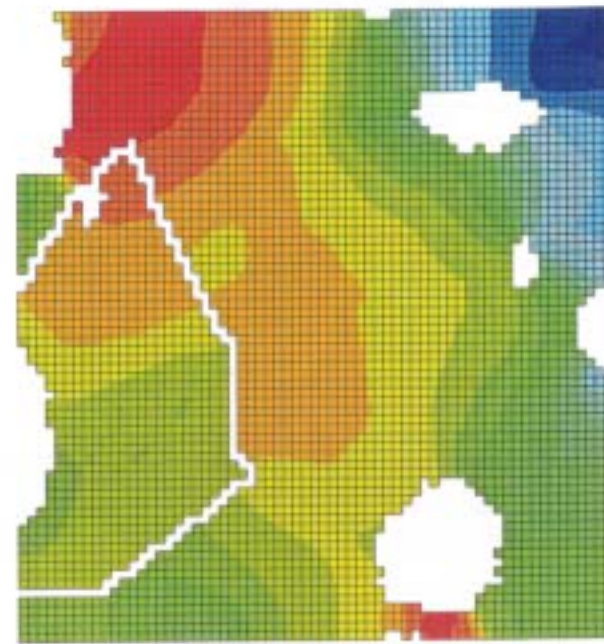
○ シミュレーションの解析条件【ケースI、II】

- 1 雨水の地下浸透量は、これまでの研究成果等から、年間降水量 1,200mm の内、約 550mm と計算した。
- 2 解析エリア境界の地下水位は現状の沢の流れが変わらないものと仮定した。
- 3 同一の地層は均一の状態にあると仮定した。
- 4 不法投棄エリアは、最終形態が一時に出現したものと仮定した。
- 5 汚染エリアの汚染濃度は、全域同一汚染状態にあると仮定した。

調査位置図



全水頭コンター図



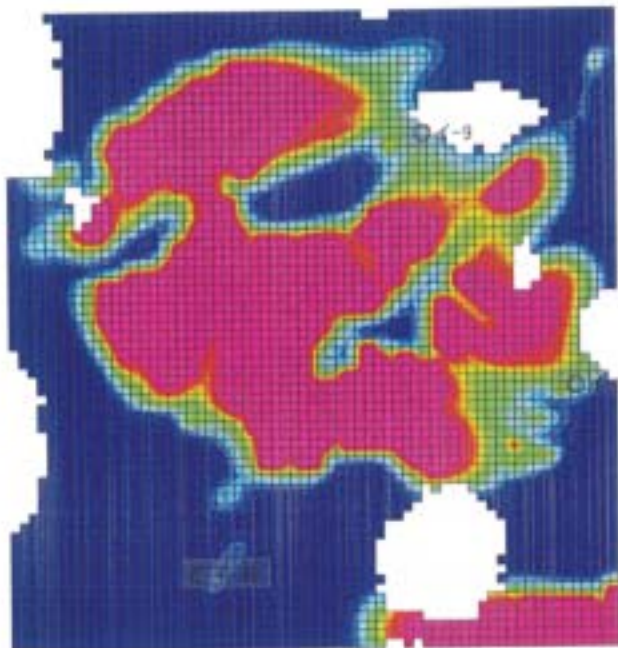
(m)



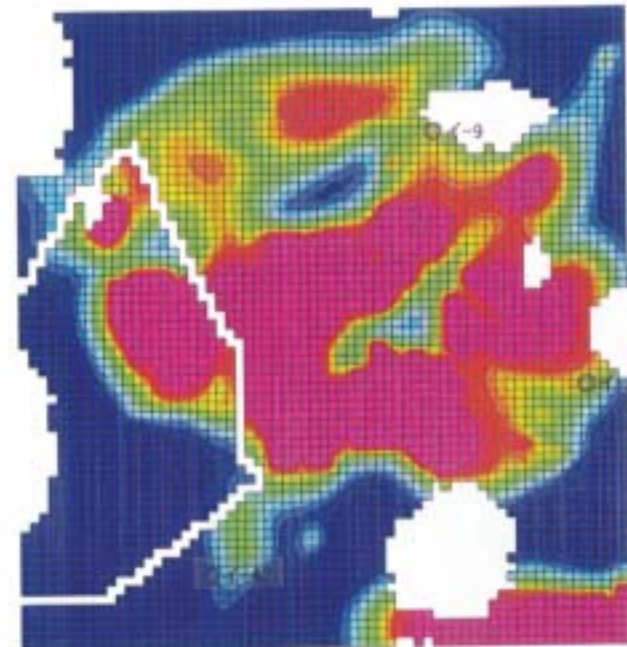
流速ベクトル図



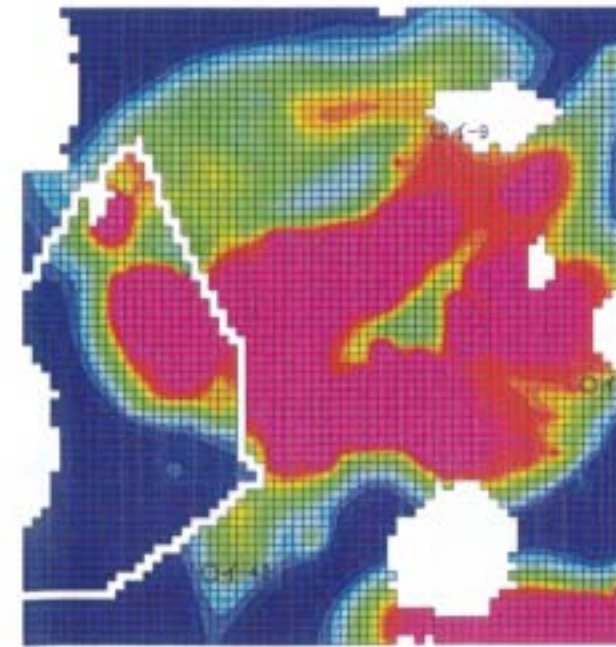
初期状態



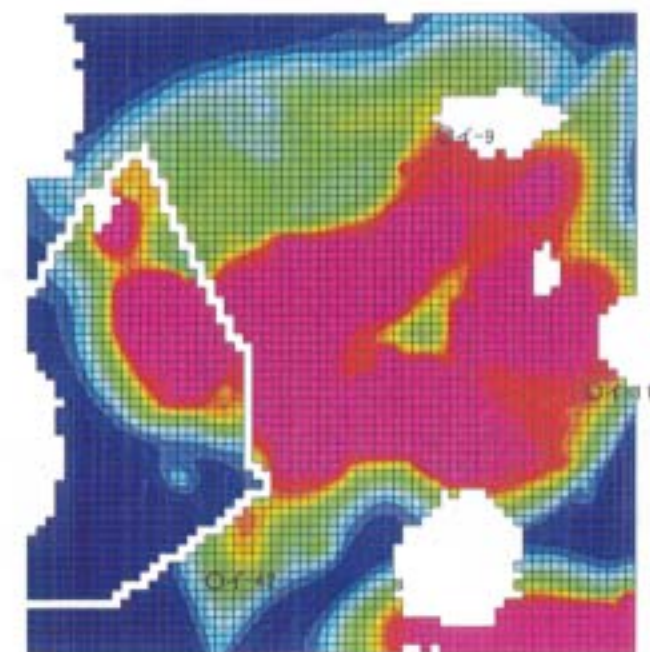
7年後



14年後



21年後



(濃度)



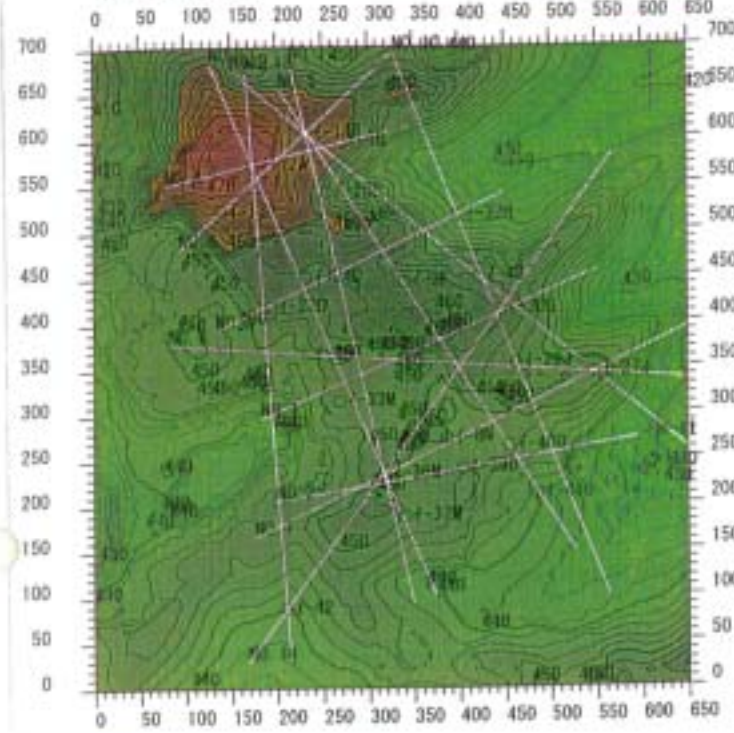
地下水移流拡散シミュレーションケースⅢ-e

＜県境遮水壁+ABD地区廃棄物撤去ケース＞

○ シミュレーションの解析条件【ケースⅢ、Ⅳ】

- 1 キャッピングした場合における地中への浸透量は、これまでの実績等から、年間降水量1,200mmの内、120mmと仮定した。
- 2 解析エリア境界の地下水位は現状の沢の流れが変わらないものと仮定した。
- 3 同一の地層は均一の状態にあると仮定した。
- 4 不法投棄エリアは、最終形態が一時に出現したものと仮定した。
- 5 汚染エリアの汚染濃度は、全域同一汚染状態にあると仮定した。

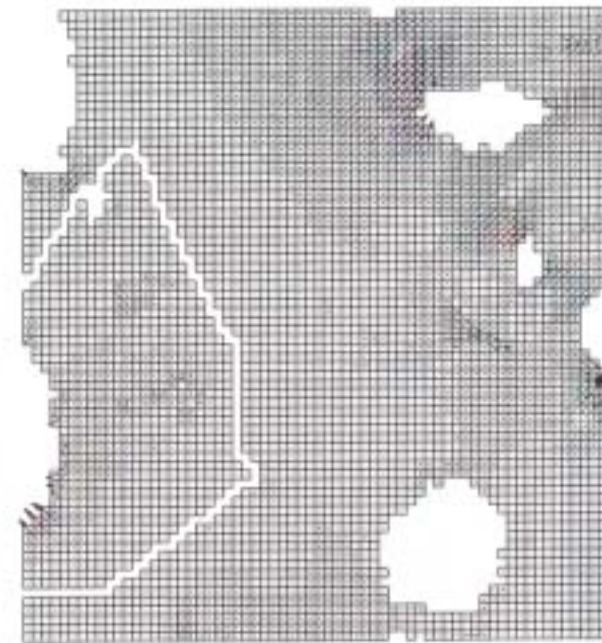
調査位置図



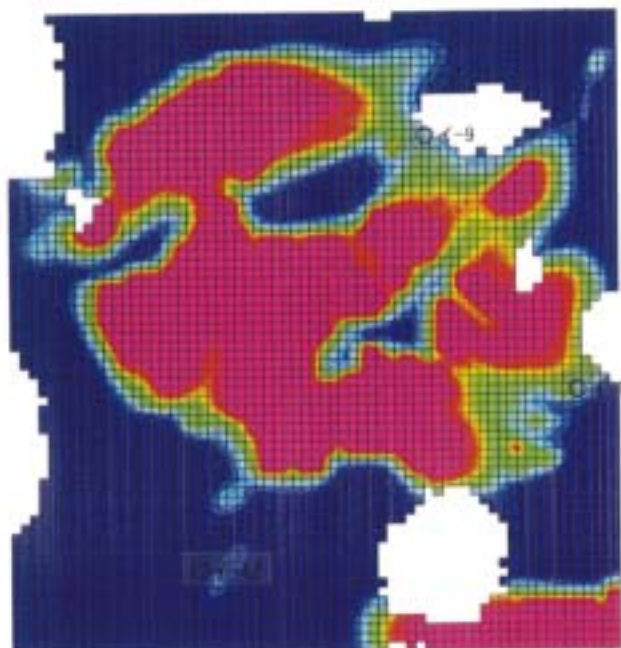
全水頭コンター図



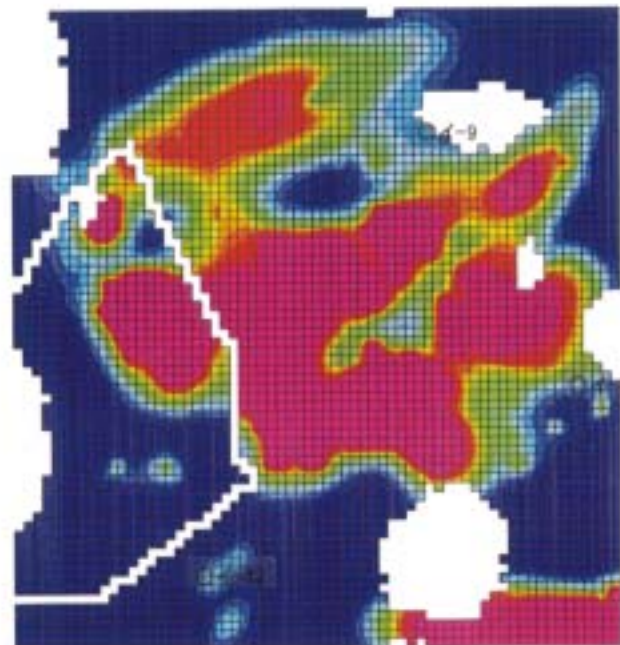
流速ベクトル図



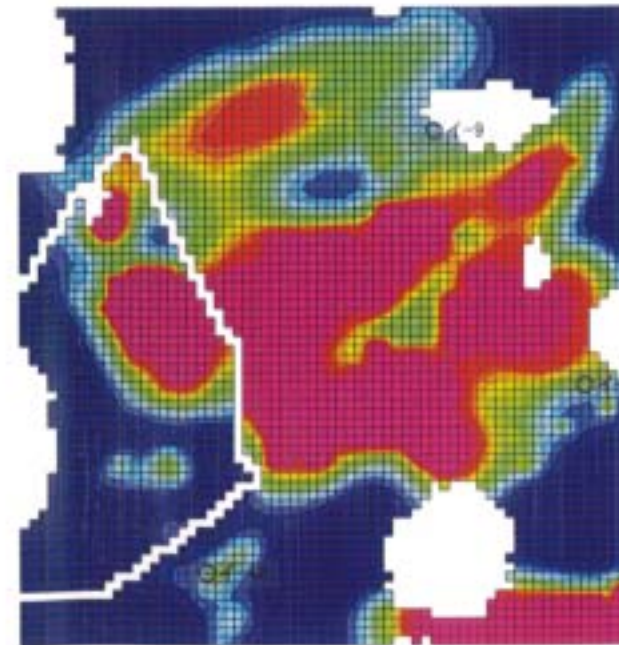
初期状態



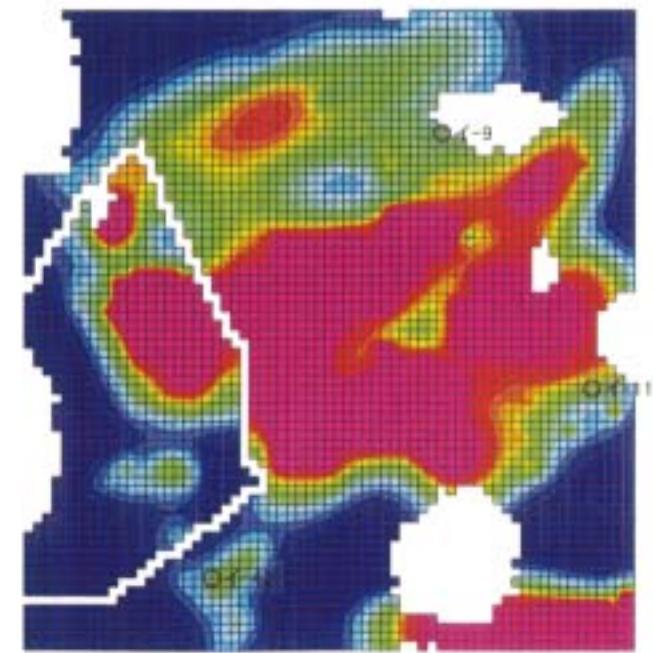
7年後



14年後



21年後



(濃度)



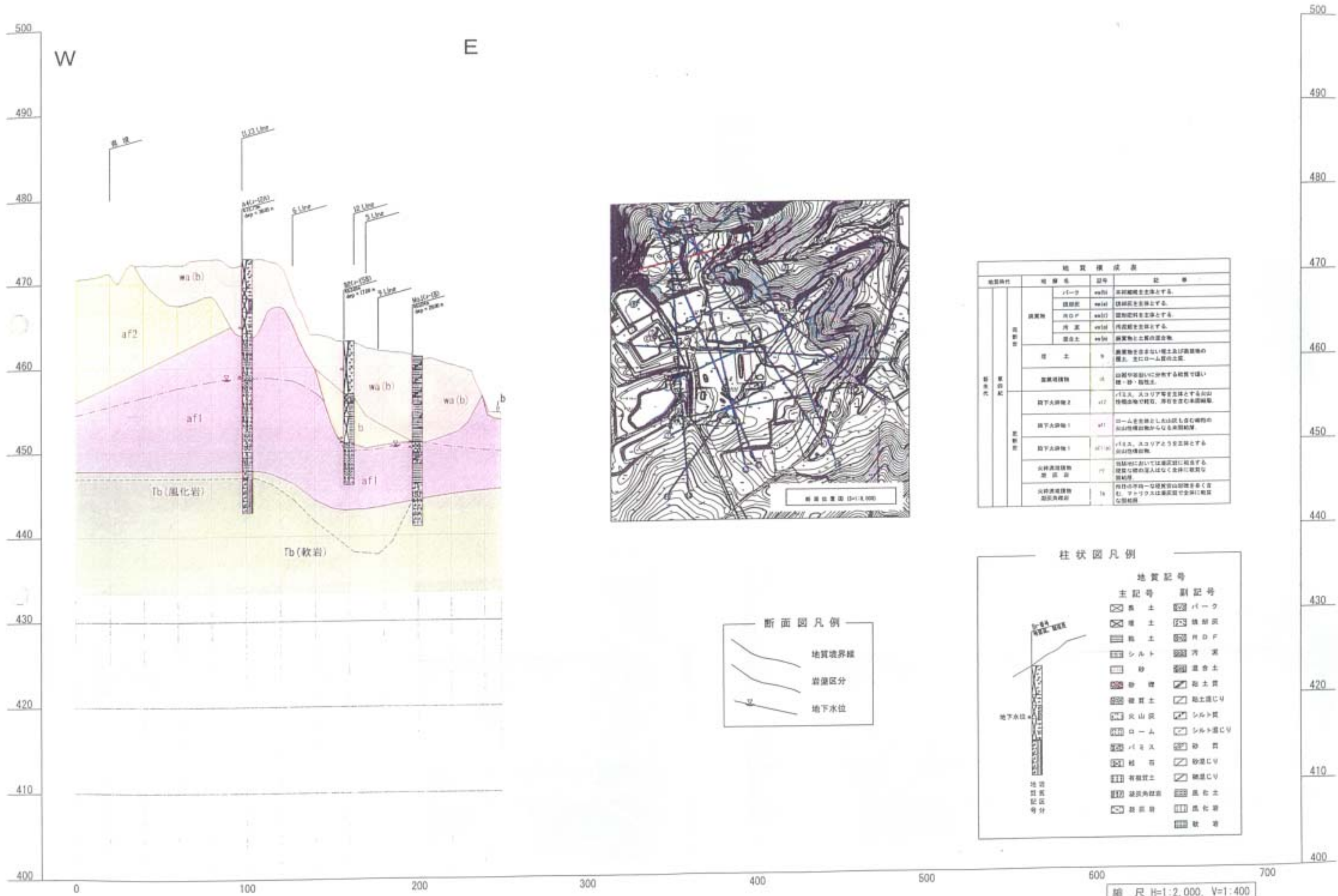
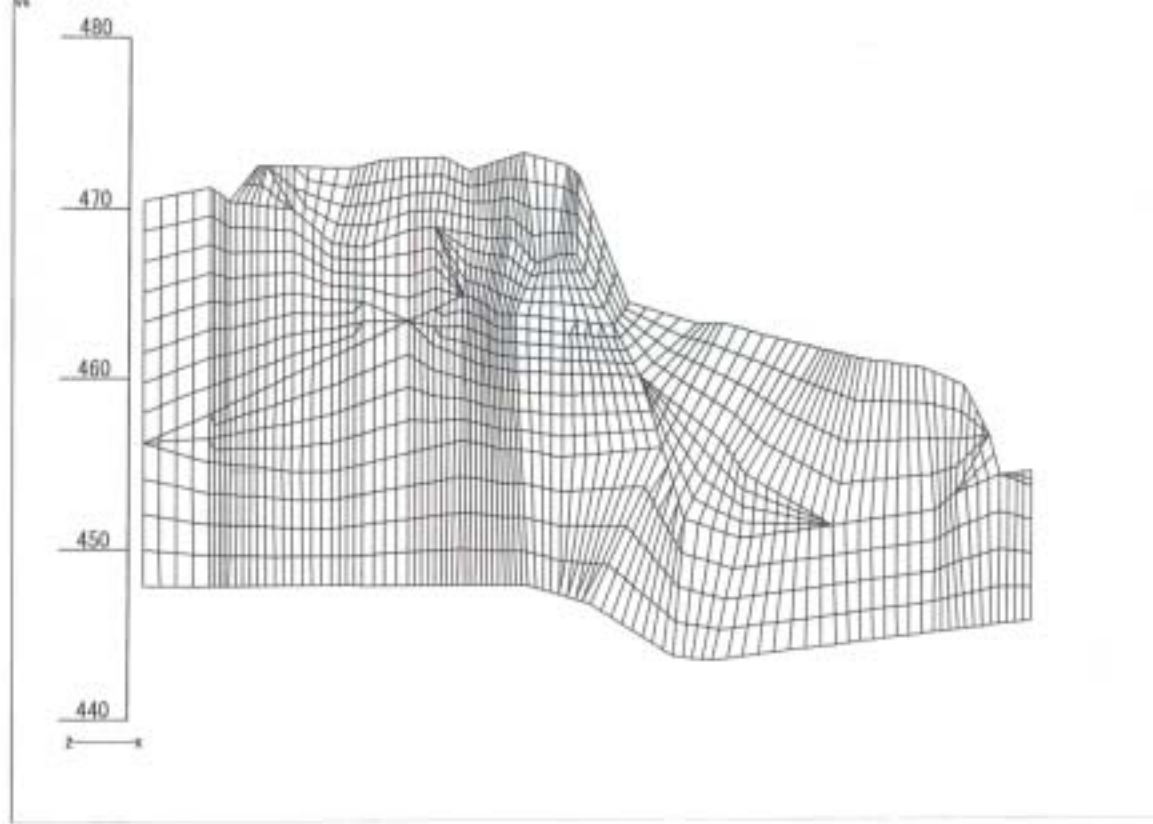


図.5.1.4.断面図④

材質区分



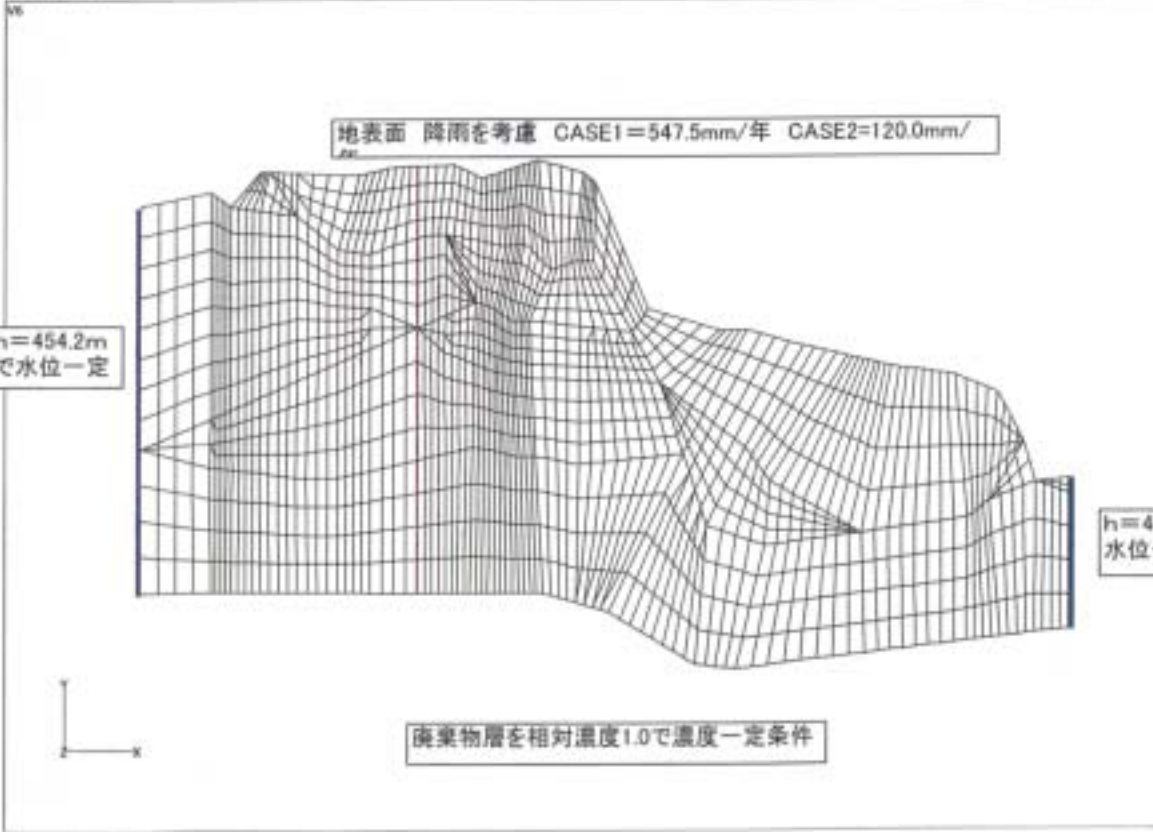
要素分割図



初期濃度



境界条件



OutputSet 01-00000-00
CaseRun 000